

			科目コード	437
科目名	生理機能検査学実習 I (Practice in Clinical Physiology I)		開講学科	臨床検査学科
選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (45時間)	履修時期
				3 年次前期
担当教員	野島 一雄、米持 英俊、岡村 法宜		科目区分	専門科目
授業概要	1 班 4～5 名のグループとなり、学生自身が検者、被検者として実際に検査を行い、手技の習熟、被検者 (患者) に対する配慮、および検査データの評価を行い、様々な疾患における生理機能検査の意義について理解する。(オムニバス方式)			
授業目標	講義で学んだ検査項目について、実際に検査機器を用いて検査および計測を行い、検査項目の意義、検査技術について理解を深める。			

授業内容

実 習 内 容	
<p>① 心電図 [12誘導心電図]</p> <p>② 心電図 [運動負荷心電図]</p> <p>③ 脈波 [指尖容積脈波 (寒冷負荷による変化)]</p> <p>④ 超音波検査の基本と腹部エコー</p> <p>⑤ 超音波検査 [心エコー]</p> <p>⑥ 眼底写真 [眼底写真の撮影]</p> <p>⑦ 呼吸機能検査 [呼吸機能の測定]</p> <p>⑧ 心電図異常データの読み方</p> <p>上記の項目・内容で実習を行う 4～5名のグループで行うが、実習の具体的な内容および日程、班分けは実習開始前のオリエンテーション時に連絡する 実習は担当教員全員で行う</p>	
成績評価方法	レポート (60%)、定期筆記試験 (40%)
教科書	大久保善朗ほか「臨床検査学講座 生理機能検査学第3版」(医歯薬出版)
参考図書等	宮武邦夫・増田喜一「実践生理機能検査テキスト」(メディカ出版) 土居忠文「手にとるようにわかる心電図入門」(ベクトル・コア) 江永学「手にとるようにわかる超音波検査法」(ベクトル・コア)
備考	実習開始前のオリエンテーション時に 班・日程・内容・各実習上の注意点およびレポートの作成上の注意点等について記したレジメを配布する。 実習レポートは各自が提出し、内容によっては再提出を求める。